

平和アピール 1981 記念講演会

元原子カプラント設計技術者が語る 原発に完全な安全システムはない ～失敗が許されない技術～

講師 工学博士 **後藤 政志** さん
NPO 法人 APAST(アパスト) 理事長
元原子カプラント設計技術者
芝浦工業大学非常勤講師



●後藤 政志 さん

1949年、東京都生まれ。工学博士。広島大学工学部船舶工学科卒業。1973年から、三井海洋開発で海洋構造物を設計。1989年、東芝に入社。原子炉格納容器を研究。2002年までに柏崎刈羽原発、浜岡原発、女川原発の設計に携わる。この間、原子炉格納容器の安全性は技術で担保しきれないとの疑念を生じる。2007年7月16日の新潟県中越沖地震に伴う柏崎刈羽原子力発電所の一連の事故のときに、これは決定的にだめだ、技術者として黙ってはいただけないと思う。2009年、東芝を定年退職。原子炉格納容器設計者の観点から、福島第一原子力発電所事故の分析を行っている。

2012年2月19日(日)
14:00～16:00

場所：世界平和記念聖堂
(カトリック幟町教会)

広島市中区幟町4-42
TEL 082-221-6017
エリザベト音楽大学隣



入場料無料
どなたでも参加できます

主催：カトリック広島教区平和推進チーム